

1 いじめ問題解決に向けた私たちの取組名

『Team 東中校区で思いやり、いじめをなくそう!』プロジェクト

2 「いじめ撲滅宣言」とのかかわり

東中学校では、いじめ撲滅宣言『東中は いじめをしない させない 許さない』の実現を目指し、『笑顔、やる気、希望いっぱいの学校づくりに向け私たちができること』のテーマのもと、東中生のつながりを深めるための様々な取組を行った。今年度特に力を入れたところは、縦割りでの話し合い活動や感謝のメッセージなどを通して、お互いの個性を認め合う活動を増やしたことである。このような取り組みをしたことで生徒が主体的に活動する力やお互いを思いやる心が育成され、その力を生かし、生徒自身が『笑顔、やる気、希望いっぱいの学校づくり』を行ってきた。

3 共通の取組「地域でふれあうあいさつ運動」「藤岡市ネットいじめ防止行動目標アクション3+」

東中学校で、毎年恒例となったこのあいさつ運動週間は、小中学生と地域の方とがふれあう貴重な場である。今年度は、各小学校をまわって実施することはできなかったが、地域の方々にご協力をいただき、あいさつ運動を実施することができた。通常のあいさつと比べ、明るく意欲的にあいさつしていこうという様子が見られ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする意識の向上につながっている。



東中学校では、スマホやゲームの使い方を見直すために、全校でSNSの使い方についての学級活動を行い、SNSとの正しい付き合い方や使い方について考える活動を行った。

4 私たちの取組

(1) 人権集中学習週間

今年度、前期は繋（つながり）『人としてかっこよくいきていたいじゃないか』、後期は「自分らしさってなんだ? 『僕は僕らしく そして 君は君らしく』」というテーマで行った。

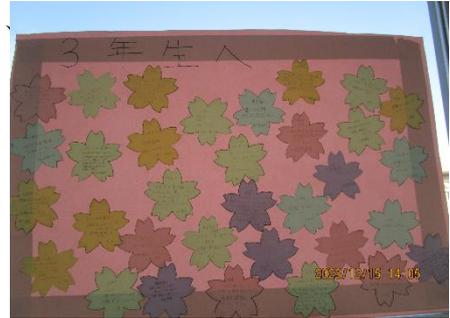
【前期の具体的な取り組み】

道徳の時間に全校共通で「ピンクシャツDAY」の内容を扱い、人から言われて嬉しい言葉について考えた。また縦割り道徳を実施し、SNSの使い方について学年を越えて話し合いを行った。



【後期の具体的な取り組み】

「多様性」に焦点を当て、自分らしさやお互いを尊重する心について考えた。LGBTQ+などの性的マイノリティもともに生きやすい社会を目指して様々な活動を行っている「ハレルワ」の方の講演を聴き、性の多様性について理解を深めた。また縦割り活動として他学年に感謝のメッセージを送る活動では、学校を支える先輩へのメッセージや、部活動での感謝の気持ちを綴り、



(2) 被災地支援・福祉施設支援

①笑顔あふれるアルミ缶回収運動

今年度は、地域の2ヶ所の福祉施設（音和の園・藤美荘）へ、各施設で必要なものを寄贈することを目標にアルミ缶回収を行った。福祉施設への支援は、長年継続している東中学校の伝統的な活動である。保護者や地域の方々からも協力を得ることができ、アルミ缶回収活動を通して地域の方々との繋がりを深めることができた。

②Tシャツ購入による支援募金

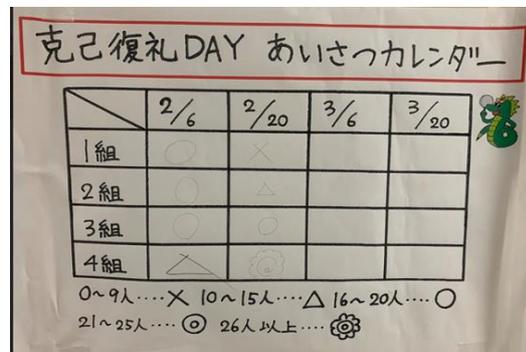
藤樹祭では生徒がデザインしたチャリティーTシャツを販売し、収益の一部を被災地支援に充てた。多くの生徒からの協力を得ることができ、共生の心を育てることができた。

③能登半島地震への支援募金

JRC・ユネスコ委員会が中心となり、能登半島地震への募金活動を行った。被災者の心情を慮り、多くの生徒の協力を得ることができた。

(3) 克己復礼 DAY

あいさつの声が小さいという課題を改善するために、あいさつを大きな声で行うことや礼儀正しく生活することを意識して過ごす「克己復礼 DAY」という日を、生徒会本部で企画した。具体的な取組内容としては各部の部長によるあいさつ運動や「おはようございます」のあいさつリレー、クラスの友達と交流するエクササイズ、帰りの会での振り返り、あいさつカレンダーへの記入である。2月から第1、3月曜日に実施した。人と人との関わりの第一歩であるあいさつの大切さを発信していくとともに日常的なあいさつの実践につなげていきたい。



5 取組のまとめ

(1) 取組の成果

今年度は、前期は「進取果敢～～自発的に発信し、一人一人が主役の東中を造りあげよう～」後期は「大同団結～言葉を通して個性を認め合い一人一人が日々成長していこう～」の生徒会スローガンのもと、アフターコロナの今できることを生徒自身が一生懸命考え、企画してきた。数年ぶりにみかぼみらい館での開催になった文化祭では、学年合唱・クラス合唱を行い、生徒会企画・文化部発表では先生方も巻き込み、学校一丸となって大いに盛り上がり、クラスや学校全体の団結力につながった。また、他学年への感謝のメッセージをおくる活動を行い、お互いのよさや個性を知り、認め合う活動を実施することができた。活動を通して『共生』の意識をもち、人と人との繋がりや互いを思いやる気持ちを高めることができた。

(2) 今後の課題

東中学校の共生の心の育成にむけた『笑顔、やる気、希望いっぱいの学校づくり』を行ってきたが、その根底を支えるのは『信頼できる人間関係』である。そのためには、様々な人との関わりが必要である。引き続き多様な考えを持つ人とコミュニケーションを図れる場を増やしていく。そしてそのことにより共感的な人間関係を築いていきたい。また、「感謝のメッセージ」や「克己復礼 DAY」など様々な活動がいじめ防止につながっていることを意識させていきたい。「いじめを許さない」というねらいを常に意識させるのはもちろん、他者と協力することにより、自分たちの学校を自分たちの力でよりよくしていこうという自治的な力を培い、東中生の『共生』意識、相手を思いやる気持ちを育んでいきたい。

いじめ問題解決に向けた年間の取組

藤岡市立東中学校

月	学校の取組	一貫校の取組
4月	・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査）	
5月	・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査）	
6月	・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査） ・前期人権学習旬間 ・部活動ごとの挨拶運動	・地域でのあいさつ運動
7月	・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査） ・Q-Uテストの実施（1回目）	
8月	・三者面談の実施	
9月	・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査） ・藤岡多野いじめ防止フォーラムへの参加	
10月	・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査） ・ハッピーはあとふるツリー（藤樹祭）	
11月	・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査） ・三者面談（3年）	・東連携型小中一貫校人権サミット ・いじめ問題解決に向けた教育懇談会
12月	・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査） ・「ネットいじめ防止行動目標アクション3+」を活用 ・後期人権集中学習旬間 ・感謝のメッセージ ・部活動ごとの挨拶運動 ・二者面談（3年）、三者面談（1・2年）	・教育懇談会まとめリーフレットによる家庭・地域の啓発 ・地域でのあいさつ運動
1月	・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査） ・いじめ問題解決に向けた子ども会議開催 ・Q-Uテストの実施（2回目）	
2月	・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査）	
3月	・生活アンケート（いじめ・悩みごと実態調査）	